

大学番号：公019

注3

届出

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

兵庫県立大学 社会情報科学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人兵庫県立大学  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

本部事務局大学教育改革室大学院改革推進課

カチョウ マルヤマ ヤスシ  
課長 丸山 靖

電話番号 078-794-6062

(夜間) 078-794-6062

F A X 078-794-5575

e-mail yasushi\_maruyama@ofc.u-hyogo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について  
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

社会情報科学部

＜社会情報科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人兵庫県立大学

## (2) 大学名

兵庫県立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒651-2197

兵庫県神戸市西区学園西町8丁目2番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イオキベ マコト) 五百旗頭 真 (平成30年4月)		
学長	(オオタ イサオ) 太田 勲 (平成29年4月)		
学部長	(カトウ ナオキ) 加藤 直樹 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
社会情報科学部 社会情報科学科 学士 (社会情報科学)	工学関係	4年	100人	年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 ( - ) [ 若干名 ]		100 ( - ) [ - ]		100 ( - ) [ - ]		100 ( - ) [ - ]		1.01倍	- 倍	
志願者数	897 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	582 ( - ) [ 5 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	121 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	101 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.01		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - (3) 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	101 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次	/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次	/		/		/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	101 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	101 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養教育科目	人間性の基盤教育科目 (人と社会)	法学	1・2前	2							兼1
		政治学	1・2後	2							兼1
		社会学	1・2後	2							兼1
		男女共同参画社会	1・2前	2							兼1
		日本国憲法	1・2前	2							兼1
		自然地理学	1・2後	2							兼1
		ひょうごの子育て支援	1・2前	2							兼1
	小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	兼7
	人間性の基盤教育科目 (人と自然)	医療と工学のフロンティア	1・2前	2							兼1
		自然科学概論	1・2前	2							兼1
		生命倫理	1・2前	2							兼1
		生命概論	1・2前	2							兼1
		ライフサイエンス論	1・2後	2							兼1
		数学(A)	1・2前	2							兼1
		数学(B)	1・2後	2							兼1
		統計学	1・2前	2							兼1
		放射光科学のフロンティア	1・2後	2							兼1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	兼7
	人間性の基盤教育科目 (人と健康)	健康・スポーツ科学演習1	1・2前	1							兼5
		健康・スポーツ科学演習2	1・2後	1							兼5
		ヒューマンヘルスサイエンス	1・2前	2							兼1
		小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0
	ひょうご県大特色科目 (地域課題探究科目)	ひょうご地域課題概論	1・2前	2							兼1
		地域創造論 I	1・2前	2							兼1
		地域創造論 II	1・2後	2							兼1
		兵庫県の行政	1・2後	2							兼1
		地域プロジェクト概論	1・2前	2							兼1
		地域社会と健康	1・2後	2							兼5
		地域資源マネジメント概論	1・2後	2							兼10
		兵庫の里山	1・2前	2							兼1
		ジオパークと地域	1・2前	2							兼3
		共生博物学	1・2前	2							兼8
	小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	兼27
	ひょうご県大特色科目 (グローバル教育科目)	比較文化論	1・2前	2							兼1
		国際関係論入門	1・2後	2							兼1
		現代の日本経済	1・2前	2							兼1
		現代の経営問題	1・2前	2							兼4
		文章表現論	1・2後	2							兼1
		多文化社会論	1・2前	2							兼6
		宗教概論	1・2後	2							兼1
		日本文化論	1・2前	2							兼1
		グローバルリーダー入門	1・2後	2							兼1
		グローバルヒストリー	1・2前	2							兼1
グローバル市民社会論		1・2前	2							兼1	
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18	
ひょうご県大特色科目 (防災教育科目)	地球の営みと災害	1・2後	2							兼1	
	兵庫の歴史と自然災害史	1・2前	2							兼1	
	生活と防災	1・2後	2							兼1	
	社会特性と減災復興	1・2後	2							兼2	
	兵庫の災害と防災	1・2前	2							兼1	
	災害支援とボランティア	1・2前	2							兼1	
	減災復興まちづくり	1・2前	2							兼2	
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目 教養教育科目	人間性の基盤教育科目 (人と社会)	法学	1・2前	2							兼1
		政治学	1・2後	2							兼1
		社会学	1・2後	2							兼1
		男女共同参画社会	1・2前	2							兼1
		日本国憲法	1・2前	2							兼1
		自然地理学	1・2後	2							兼1
		ひょうごの子育て支援	1・2前	2							兼1
	小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	兼7
	人間性の基盤教育科目 (人と自然)	医療と工学のフロンティア	1・2前	2							兼1
		自然科学概論	1・2後	2							兼1
		生命倫理	1・2前	2							兼1
		生命概論	1・2前	2							兼1
		ライフサイエンス論	1・2後	2							兼1
		数学(A)	1・2前	2							兼1
		数学(B)	1・2後	2							兼1
		統計学	1・2前	2				1			兼1
		放射光科学のフロンティア	1・2後	2							兼1
	小計(9科目)	-	0	18	0	0	1	0	0	0	兼6
	人間性の基盤教育科目 (人と健康)	健康・スポーツ科学演習1	1・2前	1							兼4
		健康・スポーツ科学演習2	1・2後	1							兼4
		ヒューマンヘルスサイエンス	1・2前	2							兼4
		小計(3科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0
	ひょうご県大特色科目 (地域課題探究科目)	ひょうご地域課題概論	1・2前	2							兼1
		地域創造論 I	1・2前	2							兼1
		地域創造論 II	1・2後	2							兼1
		兵庫県の行政	1・2後	2							兼1
		地域プロジェクト概論	1・2前	2							兼1
		地域社会と健康	1・2後	2							兼4
		地域資源マネジメント概論	1・2後	2							兼9
		兵庫の里山	1・2前	2							兼1
		ジオパークと地域	1・2前	2							兼3
		共生博物学	1・2前	2							兼8
	小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	兼24
	ひょうご県大特色科目 (グローバル教育科目)	比較文化論	1・2前	2							兼1
		国際関係論入門	1・2後	2							兼1
		現代の日本経済	1・2前	2							兼1
		現代の経営問題	1・2前	2							兼6
		文章表現論	1・2後	2							兼1
		多文化社会論	1・2前	2							兼5
		宗教概論	1・2後	2							兼1
		日本文化論	1・2前	2							兼1
		グローバルリーダー入門	1・2後	2							兼1
		グローバルヒストリー	1・2前	2							兼1
グローバル市民社会論		1・2前	2							兼1	
小計(11科目)	-	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18	
ひょうご県大特色科目 (防災教育科目)	地球の営みと災害	1・2後	2							兼1	
	兵庫の歴史と自然災害史	1・2前	2							兼1	
	生活と防災	1・2後	2							兼1	
	社会特性と減災復興	1・2後	2							兼2	
	兵庫の災害と防災	1・2前	2							兼1	
	災害支援とボランティア	1・2前	2							兼1	
	減災復興まちづくり	1・2前	2							兼2	
小計(7科目)	-	0	14	0	0	0	0	0	0	兼9	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	社会関連発展科目	経済政策論Ⅰ	3前	2							兼1
		経営戦略論	3前	2							兼1
		マーケティング論	3前	2							兼1
		経済政策論Ⅱ	3後	2							兼1
		マクロ経済学Ⅲ	3後	2							兼1
		財務情報分析論	4前	2							兼1
		ものづくり経営学	4前	2							兼1
		消費者行動論	4前	2							兼1
	原価計算論	4後	2							兼1	
	演習科目	PBL演習Ⅰ	1後	2		10	9		4		兼2
		PBL演習Ⅱ	2後	2		10	9		4		兼2
		研究演習Ⅰ	3前	2		6	4				
		研究演習Ⅱ	3後	2		4	5				
		卒業研究	4通	4		9	9				
	小計(53科目)		-	32	76	0	10	9	0	4	0
合計(149科目)		-	66	210	0	10	9	0	4	0	兼119

卒業要件及び履修方法

(卒業要件) 全学共通科目 28単位以上  
 専門系科目 96単位以上 合計124単位以上  
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【全学共通科目】28単位以上  
 (自主自律支援科目)計2単位  
 ・次の1科目(2単位)必修:基礎演習  
 (グローバル化時代のアカデミックスキル科目)計12単位  
 ・「英語」次の6科目(6単位)必修:Reading and Discussion1・2、Listening and Speaking1・2、Writing1・2  
 ・「選択英語」次の3科目群から1科目群、2科目(2単位)選択必修:「TOEIC English1・2」「TOEFL English1・2」「Business English1・2」  
 ・「統計・情報」次の2科目(4単位)必修:情報処理基礎、情報科学概論  
 (人間性の基盤教育科目)計6単位  
 ・次の3科目群からそれぞれ1科目(2単位)選択必修:「人と文化」「人と社会」「人と自然」  
 (ひょうご県大特色科目)計4単位  
 ・次の3科目群から2科目群、計2科目(4単位)選択必修:「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」  
 (その他自由選択)計4単位以上

【専門系科目】96単位以上  
 (専門基礎科目)計22単位  
 ・次の11科目(22単位)必修:社会情報科学概論、社会情報科学のための数学、微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計、プログラミングⅠ、経営データ概論、プログラミングⅡ、データ構造とアルゴリズム、経済データ概論、情報倫理と法  
 (専門教育科目)計54単位以上  
 ・「情報科学関連科目」次の4科目(8単位)必修:情報技術の最前線、人工知能、データマイニング、機械学習  
 ・「情報科学関連科目」その他12科目から4科目(8単位)選択必修  
 ・「データ分析関連科目」次の4科目(8単位)必修:データ分析の最前線、データ分析演習、社会データ分析、政策データ分析  
 ・「データ分析関連科目」その他5科目から2科目(4単位)選択必修  
 ・「意思決定関連科目」次の2科目(4単位)必修:数理モデリング、オペレーションズ・リサーチ  
 ・「意思決定関連科目」その他4科目から1科目(2単位)選択必修  
 ・「社会関連基本科目」2科目(4単位)選択必修  
 ・「社会関連発展科目」2科目(4単位)選択必修  
 ・「演習科目」次の5科目(12単位)必修:PBL演習Ⅰ、PBL演習Ⅱ、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究  
 (その他選択)計20単位以上

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	社会関連発展科目	経済政策論Ⅰ	3前	2							兼1
		経営戦略論	3前	2							兼1
		マーケティング論	3前	2							兼1
		経済政策論Ⅱ	3後	2							兼1
		マクロ経済学Ⅲ	3後	2							兼1
		財務情報分析論	4前	2							兼1
		ものづくり経営学	4前	2							兼1
		消費者行動論	4前	2							兼1
	原価計算論	4後	2							兼1	
	演習科目	PBL演習Ⅰ	1後	2		10	9		4		兼2
		PBL演習Ⅱ	2後	2		10	9		4		兼2
		研究演習Ⅰ	3前	2		6	4				
		研究演習Ⅱ	3後	2		4	5				
		卒業研究	4通	4		9	9				
	小計(53科目)		-	32	76	0	10	9	0	4	0
合計(151科目)		-	66	212	0	10	9	0	4	0	兼126

卒業要件及び履修方法

(卒業要件) 全学共通科目 28単位以上  
 専門系科目 96単位以上 合計124単位以上  
 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【全学共通科目】28単位以上  
 (自主自律支援科目)計2単位  
 ・次の1科目(2単位)必修:基礎演習  
 (グローバル化時代のアカデミックスキル科目)計12単位  
 ・「英語」次の6科目(6単位)必修:Reading and Discussion1・2、Listening and Speaking1・2、Writing1・2  
 ・「選択英語」次の3科目群から1科目群、2科目(2単位)選択必修:「TOEIC English1・2」「TOEFL English1・2」「Business English1・2」  
 ・「統計・情報」次の2科目(4単位)必修:情報処理基礎、情報科学概論  
 (人間性の基盤教育科目)計6単位  
 ・次の3科目群からそれぞれ1科目(2単位)選択必修:「人と文化」「人と社会」「人と自然」  
 (ひょうご県大特色科目)計4単位  
 ・次の3科目群から2科目群、計2科目(4単位)選択必修:「地域課題探究科目」「グローバル教育科目」「防災教育科目」  
 (その他自由選択)計4単位以上

【専門系科目】96単位以上  
 (専門基礎科目)計22単位  
 ・次の11科目(22単位)必修:社会情報科学概論、社会情報科学のための数学、微積分Ⅰ、線形代数Ⅰ、確率・統計、プログラミングⅠ、経営データ概論、プログラミングⅡ、データ構造とアルゴリズム、経済データ概論、情報倫理と法  
 (専門教育科目)計54単位以上  
 ・「情報科学関連科目」次の4科目(8単位)必修:情報技術の最前線、人工知能、データマイニング、機械学習  
 ・「情報科学関連科目」その他12科目から4科目(8単位)選択必修  
 ・「データ分析関連科目」次の4科目(8単位)必修:データ分析の最前線、データ分析演習、社会データ分析、政策データ分析  
 ・「データ分析関連科目」その他5科目から2科目(4単位)選択必修  
 ・「意思決定関連科目」次の2科目(4単位)必修:数理モデリング、オペレーションズ・リサーチ  
 ・「意思決定関連科目」その他4科目から1科目(2単位)選択必修  
 ・「社会関連基本科目」2科目(4単位)選択必修  
 ・「社会関連発展科目」2科目(4単位)選択必修  
 ・「演習科目」次の5科目(12単位)必修:PBL演習Ⅰ、PBL演習Ⅱ、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究  
 (その他選択)計20単位以上

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・科目担当体制の変更により「キャリアデザイン入門」の教員の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「Listening and Speaking 2」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「Writing 1」の教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「Writing 2」の教員の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「中国語 1」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「中国語 2」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「フランス語 1」の配当年次を「2前」から「1前」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「フランス語 2」の配当年次を「2後」から「1後」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「スペイン語 1」の配当年次を「2前」から「1前」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「スペイン語 2」の配当年次を「2後」から「1後」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「ドイツ語 1」を追加。
- ・教育課程の充実のため、「ドイツ語 2」を追加。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「韓国・朝鮮語 1」の配当年次を「2前」から「1前」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、少人数教育の実施と効果的なクラス編成のため、「韓国・朝鮮語 2」の配当年次を「2後」から「1後」に、教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「世界文学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「日本文学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「自然科学概論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「統計学」の教員の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・科目実施に伴う他学部とのクラス数の再配分により、「健康・スポーツ科学演習 1」の教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・科目実施に伴う他学部とのクラス数の再配分により、「健康・スポーツ科学演習 2」の教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・学修効果を考慮し、「ヒューマンヘルスサイエンス」の教員の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「地域プロジェクト概論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・オムニバス科目における担当教員変更に伴い、「地域社会と健康」の教員の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・オムニバス科目における担当教員変更に伴い、「地域資源マネジメント概論」の教員の配置を「兼10」から「兼9」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「現代の日本経済」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・オムニバス科目における担当教員変更に伴い、「現代の経営問題」の教員の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮するとともに、オムニバス科目「多文化社会論」における担当教員変更に伴い、配当年次を「1・2前」から「1・2後」に、教員の配置を「兼6」から「兼5」に変更。
- ・学生の履修の利便性と学修効果を考慮し、「グローバルリーダー入門」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	114 科目	0 科目	149 科目	35 科目 [ 0 ]	116 科目 [ 2 ]	0 科目 [ 0 ]	151 科目 [ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{149} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 借用面積： ①3,999.93㎡ ②15,949.94㎡ ③1,563.10㎡ 借用期間： ①1年間(R11.10.31まで1年毎に自動更新) ②10年間(10年毎に自動更新) ③初回16ヵ月(以後1年毎に自動更新) 兵庫県立淡路景観園芸学校(収容定員65名、県条例に基づいて設置しており面積基準なし)と共用		
	校舎敷地	329,798.28㎡	17,646.61㎡	0.00㎡	347,444.89㎡			
	運動場用地	79,775.50㎡	0.00㎡	0.00㎡	79,775.50㎡			
	小 計	409,573.78㎡	17,646.61㎡	0.00㎡	427,220.39㎡			
	そ の 他	361,067.13㎡	112,635.88㎡	0.00㎡	473,703.01㎡			
	合 計	770,640.91㎡	130,282.49㎡	0.00㎡	900,923.40㎡			
(2) 校舎	専 用	158,368.58㎡	11,734.05㎡	288.00㎡	170,390.63㎡			
	(158,368.58㎡)	(11,734.05㎡)	(288.00㎡)	(170,390.63㎡)				
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	8室		36室	5室	4室 (補助職員 4人)	4室 (補助職員 4人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	社会情報科学部 社会情報科学科			20 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	社会情報科学部	523,956 [174,195] (523,956 [174,195])	3,500 [1,975] (3,500 [1,975])	7,885 [7,885] (7,885 [7,885])	4,429 (4,429)	( )	- ( )	
	計	523,956 [174,195] (523,956 [174,195])	3,500 [1,975] (3,500 [1,975])	7,885 [7,885] (7,885 [7,885])	4,429 (4,429)	0 ( )	- ( )	
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	4,234.69㎡	387席		684,642冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,228.00㎡	—						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	769千円	769千円	図書購入費	2,163千円	37,000千円	4,500千円
		共同研究費等	20,098千円	20,098千円	設備購入費	23,933千円	59,881千円	5,500千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	第1年次欄、上段は入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者又はその配偶者若しくは1親等の親族である者
		817.8千円 958.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	兵庫県立大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
国際商経学部	4	330	0	1320	学士(経済学) 学士(経営学)	1.02	—	令和元	—	
国際商経学科	4	330	0	1320	学士(経済学) 学士(経営学)	1.02	—	令和元	神戸市西区学園 西町8丁目2番地 の1	秋季入学定員(30)
社会情報科学部	4	100	0	400	学士(社会情報科学)	1.01	—	令和元	—	
社会情報科学科	4	100	0	400	学士(社会情報科学)	1.01	—	令和元	神戸市西区学園 西町8丁目2番地 の1	
工学部	4	352	0	1408	学士(工学)	1.04	—	平成16	—	
電気電子情報工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.05	—	平成16	姫路市書写2167番地	
機械・材料工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.03	—	平成16	同上	
応用化学工学科	4	100	0	400	学士(工学)	1.05	—	平成16	同上	
理学部	4	175	0	700	学士(理学)	1.09	—	平成16	—	
物質科学科	4	90	0	360	学士(理学)	1.14	—	平成16	(2~4年次)赤穂郡上 郡町光都3丁目2番1	
生命科学科	4	85	0	340	学士(理学)	1.05	—	平成16	同上	
環境人間学部	4	205	0	815	学士(環境人間学)	1.04	—	平成16	—	
環境人間学科	4	205	0	815	学士(環境人間学)	1.04	平成29	平成16	(2~4年次)姫路市新 在家本町1丁目1番12 号 (1年次)姫路市書写 2167番地	定員変更(5)
看護学部	4	105	0	415	学士(看護学)	0.99	—	平成16	—	
看護学科	4	105	0	415	学士(看護学)	0.99	平成29	平成16	(2~4年次)明石市北 王子町13番71号 (1年次)神戸市西区 学園西町8丁目2番地 の1	定員変更(5)
大学全体	4	1267	0	5058	—	1.04	—	—	—	
経済学研究科	—	25	0	55	—	0.84	—	—	—	
経済学専攻 (博士前期課程)	2	10	0	20	修士(経済学)	1.00	—	平成16	神戸市西区学園西 町8丁目2番地の1	
経済学専攻 (博士後期課程)	3	5	0	15	博士(経済学)	0.53	—	平成16	同上	
地域公共政策専攻 (博士前期課程)	2	10	0	20	修士(経済学)	1.00	—	平成23	同上	
経営学研究科	—	6	0	18	—	0.61	—	—	—	
経営学専攻 (博士後期課程)	3	6	0	18	博士(経営学)	0.61	—	平成16	神戸市西区学園西 町8丁目2番地の1	

大学の名称	兵庫県立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
電気系工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	平成16	姫路市書写2167番地	平成27年より学生募集停止
電気系工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	平成16		平成27年より学生募集停止
機械系工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	平成16		平成27年より学生募集停止
機械系工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	平成16		平成27年より学生募集停止
物質系工学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	平成16		平成27年より学生募集停止
物質系工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	平成16		平成27年より学生募集停止
工学研究科	—	170	0	360	—	0.98	—	—	—	
電気物性工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	1.10	平成29	平成27	姫路市書写2167番地	定員変更(8)
電気物性工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(工学)	0.11	平成29	平成27	同上	定員変更(△1)
電子情報工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	1.20	平成29	平成27	同上	定員変更(7)
電子情報工学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(工学)	0.41	平成29	平成27	同上	定員変更(△1)
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	1.26	平成29	平成27	同上	定員変更(8)
機械工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(工学)	0.11	平成29	平成27	同上	定員変更(△1)
材料・放射光工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	0.90	平成29	平成27	同上	定員変更(7)
材料・放射光工学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(工学)	0.16	平成29	平成27	同上	定員変更(△1)
応用化学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	1.10	平成29	平成27	同上	定員変更(10)
応用化学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(工学)	0.11	平成29	平成27	同上	定員変更(△1)
化学工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(工学)	1.14	平成29	平成27	同上	定員変更(10)
化学工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(工学)	0.11	—	平成27	同上	
物質理学研究科	—	43	0	97	—	0.69	—	—	—	
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	32	0	64	修士(理学)	0.85	—	平成16	赤穂郡上郡町光都 3丁目2番1号	
物質科学専攻 (博士後期課程)	3	11	0	33	博士(理学)	0.15	—	平成16	同上	

大学の名称	兵庫県立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生命理学研究科	—	37	0	54	—	0.73	—	—	—	
生命科学専攻 (博士前期課程)	2	28	0	45	博士(理学)	0.98	—	平成16	赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号	
生命科学専攻 (博士後期課程)	3	9	0	9	博士(理学)	0.77	—	平成16	同上	
ピコバイオロジー専攻 (一貫制博士課程)	—	—	0	36	博士(理学)	—	—	平成16	—	平成31年より学生募集停止
環境人間学研究科	—	36	0	78	—	0.48	—	—	—	
環境人間学専攻 (博士前期課程)	2	30	0	60	修士(環境人間学)	0.48	—	平成16	姫路市新在家本町1丁目1番12号	
環境人間学専攻 (博士後期課程)	3	6	0	18	博士(環境人間学)	0.88	—	平成16	同上	
看護学研究科	—	31	0	63	—	0.55	—	—	—	
看護学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(看護学)	0.52	—	平成16	明石市北王子町13番71号	
看護学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(看護学)	0.75	—	平成16	同上	
共同災害看護学専攻 (一貫制博士課程)	5	2	0	1	博士(看護学)	0.62	—	平成26	同上	
応用情報科学研究科	—	50	0	110	—	1.00	—	—	—	
応用情報科学専攻 (博士前期課程)	2	40	0	80	修士(応用情報科学)	0.93	—	平成16	神戸市中央区港島南町7丁目1番28号	
応用情報科学専攻 (博士後期課程)	3	10	0	30	博士(応用情報科学)	0.93	—	平成18	同上	
シミュレーション学研究科	—	24	0	52	—	0.80	—	—	—	
シミュレーション学専攻 (博士前期課程)	2	20	0	40	修士(シミュレーション学)	0.82	—	平成23	神戸市中央区港島南町7丁目1番28号	
シミュレーション学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(シミュレーション学)	0.83	—	平成26	同上	
地域資源マネジメント研究科	—	14	0	30	—	0.80	—	—	—	
地域資源マネジメント専攻 (博士前期課程)	2	12	0	24	修士(学術)	0.75	—	平成26	豊岡祥雲寺字二ヶ谷128	
地域資源マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	2	0	6	博士(学術)	1.00	—	平成28	同上	
減災復興政策研究科	—	14	0	30	—	1.18	—	—	—	
減災復興政策専攻 (博士前期課程)	2	12	0	24	修士(学術)	1.16	—	平成29	神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号	
減災復興政策専攻 (博士後期課程)	3	2	0	6	博士(学術)	1.50	—	令和元	同上	



大学の名称	兵庫県立大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
会計研究科	—	40	0	80	—	0.60	—	—	—	
会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	0	80	会計修士(専門職)	0.60	—	平成19	神戸市西区学園西 町8丁目2番地の1	
経営研究科	—	45	0	90	—	1.04	—	—	—	
経営専門職専攻 (専門職学位課程)	2	45	0	90	経営管理修士(専門職)	1.04	—	平成22	神戸市西区学園西 町8丁目2番地の1	
緑環境景観マネジメント研究科	—	20	0	40	—	0.95	—	—	—	
緑環境景観マネジメント専攻 (専門職学位課程)	2	20	0	40	ヘルスケア・マネジ メント修士 (専門職) 緑環境景観マネ ジメント修士 (専門職)	0.95	—	平成21	淡路市野島常磐 954番地の2	
大学院全体	—	555	0	1157	—	0.85	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会情報科学部 社会情報科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	加藤 直樹 (68) <平成31年4月> 工学博士
		社会情報科学概論※ 情報技術の最前線 データ分析の最前線 データ分析演習 数理モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	木庭 淳 (59) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 情報処理基礎 プログラミングⅠ 数理モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	西出 哲人 (52) <平成31年4月> 博士(国際公共政策)
		基礎演習 情報処理基礎 経営情報システム システム管理 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	藤江 哲也 (49) <平成31年4月> 博士(理学)
		基礎演習 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 最適化理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	中村 知道 (49) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		データ分析演習 多変量解析 統計的モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	宮崎 修一 (51) <平成34年4月> 博士(工学)
		社会情報科学のための数学 グラフ理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ
兼任	講師	宮崎 修一 (48) <平成31年4月> 博士(工学)
		社会情報科学のための数学 グラフ理論
専	教授	大野 暢亮 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		プログラミングⅠ データ分析演習 データ可視化 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	加藤 直樹 (68) <平成31年4月> 工学博士
		社会情報科学概論※ 情報技術の最前線 データ分析の最前線 データ分析演習 数理モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	木庭 淳 (60) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 情報処理基礎 プログラミングⅠ 数理モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	西出 哲人 (52) <平成31年4月> 博士(国際公共政策)
		基礎演習 情報処理基礎 経営情報システム システム管理 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	藤江 哲也 (49) <平成31年4月> 博士(理学)
		基礎演習 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 最適化理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	中村 知道 (49) <平成31年4月> Doctor of Philosophy(豪州)
		データ分析演習 多変量解析 統計的モデリング PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	宮崎 修一 (51) <平成34年4月> 博士(工学)
		社会情報科学のための数学 グラフ理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ
兼任	講師	宮崎 修一 (49) <平成31年4月> 博士(工学)
		社会情報科学のための数学 グラフ理論
専	教授	大野 暢亮 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		プログラミングⅠ データ分析演習 データ可視化 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹村 匡正 (45) <平成31年4月> 博士(保健学)
		社会情報科学概論※ データ分析演習 医療福祉情報論 政策データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	木村 真 (43) <平成31年4月> 博士(経済学)
		社会情報科学概論※ 経済データ概論 データ分析演習 政策データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	川嶋 宏彰 (42) <平成31年4月> 博士(情報学)
		社会情報科学概論※ 確率・統計 機械学習 データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	川向 肇 (54) <平成31年4月> 学術修士
		基礎演習 地理情報システム 社会調査法 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	笹嶋 宗彦 (49) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 経営データ概論 情報倫理と法 人工知能 情報セキュリティ ソフトウェア開発論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	古隅 弘樹 (44) <平成31年4月> 修士(経営情報科学)※
		基礎演習 情報科学概論 コンピュータネットワーク 情報メディア論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	円谷 友英 (43) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 微積分Ⅰ 意思決定論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	大島 裕明 (40) <平成31年4月> 博士(情報学)
		基礎演習 データ構造とアルゴリズム 情報マネジメント PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	玉置 卓 (40) <平成31年4月> 博士(情報学)
		基礎演習 微積分Ⅱ 計算理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹村 匡正 (45) <平成31年4月> 博士(保健学)
		社会情報科学概論※ データ分析演習 医療福祉情報論 政策データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	木村 真 (43) <平成31年4月> 博士(経済学)
		社会情報科学概論※ 経済データ概論 データ分析演習 政策データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	教授	川嶋 宏彰 (42) <平成31年4月> 博士(情報学)
		社会情報科学概論※ 確率・統計 機械学習 データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	川向 肇 (54) <平成31年4月> 学術修士
		基礎演習 地理情報システム 社会調査法 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	笹嶋 宗彦 (49) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 経営データ概論 情報倫理と法 人工知能 情報セキュリティ ソフトウェア開発論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	古隅 弘樹 (44) <平成31年4月> 修士(経営情報科学)※
		基礎演習 情報科学概論 コンピュータネットワーク 情報メディア論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	円谷 友英 (43) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 微積分Ⅰ 意思決定論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	大島 裕明 (40) <平成31年4月> 博士(情報学)
		基礎演習 データ構造とアルゴリズム 情報マネジメント PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	玉置 卓 (40) <平成31年4月> 博士(情報学)
		基礎演習 微積分Ⅱ 計算理論 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯本 高行 (40) <平成32年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅡ データマイニング データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	山本 岳洋 (34) <平成31年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅢ 情報アクセスシステム データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	東川 雄哉 (33) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 社会情報科学のための数学 オペレーションズ・リサーチ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	照山 順一 (33) <平成31年4月> 博士(情報学)
		線形代数Ⅰ プログラミングⅠ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
専	助教	石橋 健 (34) <平成32年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅠ データ分析演習 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
兼任	講師	石橋 健 (33) <平成31年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅠ
専	助教	岩本 菜々 (31) <平成31年4月> 博士(商学)
		プログラミングⅢ データ分析演習 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
専	助教	瀧田 慎 (27) <平成31年4月> 博士(工学)
		微積分Ⅰ プログラミングⅡ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
兼任	教授	畑 正夫 (60) <平成31年4月> 博士(経済学)
		地域創造論Ⅰ 地域創造論Ⅱ
兼任	教授	内平 隆之 (44) <平成31年4月> 博士(工学)
		ひょうご地域課題概論 地域プロジェクト概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯本 高行 (40) <平成32年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅡ データマイニング データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	山本 岳洋 (34) <平成31年4月> 博士(情報学)
		統計学 プログラミングⅢ 情報アクセスシステム データ分析演習 社会データ分析※ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	東川 雄哉 (33) <平成31年4月> 博士(工学)
		基礎演習 社会情報科学のための数学 オペレーションズ・リサーチ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ 研究演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	照山 順一 (33) <平成31年4月> 博士(情報学)
		線形代数Ⅰ プログラミングⅠ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
専	助教	石橋 健 (34) <平成32年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅠ データ分析演習 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
兼任	講師	石橋 健 (33) <平成31年4月> 博士(情報学)
		プログラミングⅠ
専	助教	岩本 菜々 (31) <平成31年4月> 博士(商学)
		プログラミングⅢ データ分析演習 PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
専	助教	瀧田 慎 (27) <平成31年4月> 博士(工学)
		微積分Ⅰ プログラミングⅡ PBL演習Ⅰ PBL演習Ⅱ
兼任	教授	畑 正夫 (60) <平成31年4月> 博士(経済学)
		地域創造論Ⅰ 地域創造論Ⅱ
兼任	教授	内平 隆之 (44) <平成31年4月> 博士(工学)
		ひょうご地域課題概論 地域プロジェクト概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	野津 隆志 (62) <平成31年4月> 博士(教育学)
		多文化社会論※ グローバル市民社会論
兼任	教授	當間 克雄 (55) <平成31年4月> 経営学修士※
		現代の経営問題※
兼任	教授	内田 康郎 (52) <平成31年4月> 博士(学術)
		経営戦略論
兼任	教授	丸橋 裕 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学概論 倫理学概論 生命倫理 ヒューマンヘルスサイエンス
兼任	教授	森本 美智子 (59) <平成31年4月> 博士(医科学)
		地域社会と健康※
兼任	教授	柴田 真志 (54) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		地域社会と健康※
兼任	教授	工藤 美子 (56) <平成31年4月> 博士(看護学)
		地域社会と健康※
兼任	教授	池田 雅則 (38) <平成31年4月> 博士(教育学)
		教育学 地域社会と健康※
兼任	教授	加藤 恵正 (66) <平成31年4月> 博士(経済学)
		減災復興まちづくり
兼任	教授	森永 速男 (62) <平成31年4月> 学術博士
		地球の営みと災害
兼任	教授	青田 良介 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		兵庫の災害と防災
兼任	教授	佐藤 裕司 (62) <平成31年4月> 博士(学術)
		共生生物学※
兼任	教授	石田 弘明 (47) <平成31年4月> 博士(農学)
		共生生物学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	野津 隆志 (62) <平成31年4月> 博士(教育学)
		多文化社会論※ グローバル市民社会論
兼任	教授	内田 康郎 (52) <平成31年4月> 博士(学術)
		経営戦略論
兼任	教授	丸橋 裕 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学概論 倫理学概論 生命倫理
兼任	教授	池田 雅則 (39) <平成31年4月> 博士(教育学)
		教育学
兼任	教授	加藤 恵正 (66) <平成31年4月> 博士(経済学)
		減災復興まちづくり
兼任	教授	森永 速男 (62) <平成31年4月> 学術博士
		地球の営みと災害
兼任	教授	青田 良介 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		兵庫の災害と防災
兼任	教授	佐藤 裕司 (62) <平成31年4月> 博士(学術)
		共生生物学※
兼任	教授	石田 弘明 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		共生生物学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	井口 博夫 (67) <平成31年4月> 学術博士
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	教授	江崎 保男 (67) <平成31年4月> 理学博士
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	佐川 志朗 (50) <平成31年4月> 博士(農学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	中井 淳史 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	大橋 瑞江 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		兵庫の里山
兼任	教授	石黒 靖子 (57) <平成31年4月> 博士(経済学)
		現代の日本経済
兼任	教授	三崎 秀央 (47) <平成31年4月> 博士(経営学)
		経営学概論
兼任	教授	大住 康之 (57) <平成31年4月> 博士(経済学)
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅲ
兼任	教授	鷗木 秀夫 (56) <平成31年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	伊藤 国彦 (58) <平成31年4月> 経済学修士※
		経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ
兼任	教授	末弘 美樹 (54) <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 多文化社会論※
兼任	教授	園田 節子 (48) <平成31年4月> 博士(学術)
		東洋史
兼任	教授	三上 和彦 (56) <平成31年4月> Ph.D.(米国)、経済学博士
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	井口 博夫 (67) <平成31年4月> 学術博士
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	教授	江崎 保男 (67) <平成31年4月> 理学博士
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	佐川 志朗 (50) <平成31年4月> 博士(農学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	中井 淳史 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	教授	大橋 瑞江 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		兵庫の里山
兼任	教授	石黒 靖子 (58) <平成31年4月> 博士(経済学)
		現代の日本経済
兼任	教授	大住 康之 (57) <平成31年4月> 博士(経済学)
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅲ
兼任	教授	鷗木 秀夫 (56) <平成31年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	伊藤 国彦 (58) <平成31年4月> 経済学修士※
		経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ
兼任	教授	園田 節子 (48) <平成31年4月> 博士(学術)
		東洋史
兼任	教授	三上 和彦 (56) <平成31年4月> Ph.D.(米国)、経済学博士
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	土肥 隆 (61) <平成31年4月> 体育学士
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	松村 浩貴 (52) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	加納 郁也 (49) <平成31年4月> 博士(経営学)
		現代の経営問題※
兼任	教授	金志 佳代子 (45) <平成31年4月> 修士(英文学)※
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	教授	林 昌彦 (57) <平成31年4月> 博士(経営学)
		会計学概論
兼任	教授	渡邊 泰宏 (54) <平成31年4月> 商学士
		会計学概論
兼任	教授	西中 恒和 (59) <平成31年4月> 博士(理学)
		数学(A)
兼任	教授	松本 敏民 (62) <平成31年4月> 工学博士
		数学(B)
兼任	講師	松本 敏民 (65) <平成34年4月> 工学博士
		数学(B)
兼任	教授	陳 來幸 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		多文化社会論※
兼任	講師	陳 來幸 (65) <平成34年4月> 博士(文学)
		多文化社会論※
兼任	教授	木下 誠 (63) <平成31年4月> 文学修士
		世界文学 フランス語1 フランス語2 多文化社会論※
兼任	講師	木下 誠 (65) <平成33年4月> 文学修士
		世界文学 フランス語1 フランス語2 多文化社会論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	土肥 隆 (61) <平成31年4月> 体育学士
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	松村 浩貴 (52) <平成31年4月> 体育学修士
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2
兼任	教授	加納 郁也 (49) <平成31年4月> 博士(経営学)
		兵庫県庁の行政
兼任	教授	林 昌彦 (57) <平成31年4月> 博士(経営学)
		会計学概論
兼任	教授	渡邊 泰宏 (54) <平成31年4月> 商学士
		会計学概論
兼任	教授	西中 恒和 (59) <平成31年4月> 博士(理学)
		数学(A)
兼任	教授	松本 敏民 (62) <平成31年4月> 工学博士
		数学(B)
兼任	講師	松本 敏民 (65) <平成34年4月> 工学博士
		数学(B)
兼任	教授	陳 來幸 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		多文化社会論※ グローバルリーダー入門
兼任	講師	陳 來幸 (65) <平成34年4月> 博士(文学)
		多文化社会論※ グローバルリーダー入門
兼任	教授	木下 誠 (63) <平成31年4月> 文学修士
		世界文学 多文化社会論※
兼任	講師	木下 誠 (65) <平成33年4月> 文学修士
		世界文学 多文化社会論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	瀬良 晴子 (63) <平成31年4月> 文学修士※
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	講師	瀬良 晴子 (65) <平成33年4月> 文学修士※
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	教授	石田 潤 (64) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	石田 潤 (65) <平成32年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	准教授	森谷 義哉 (50) <平成31年4月> 工学(修士)
		統計学
兼任	准教授	船越 明子 (42) <平成31年4月> 博士(保健学)
		地域社会と健康※
兼任	准教授	馬場 美智子 (53) <平成31年4月> 博士(工学)
		減災復興まちづくり
兼任	准教授	阪本 真由美 (48) <平成31年4月> 博士(情報学)
		兵庫の歴史と自然災害史
兼任	准教授	澤田 雅浩 (47) <平成31年4月> 博士(政策・メディア)
		社会特性と減災復興※
兼任	准教授	紅谷 昇平 (47) <平成31年4月> 博士(工学)
		社会特性と減災復興※
兼任	准教授	浦川 豪 (46) <平成31年4月> 博士(工学)
		生活と防災
兼任	准教授	和田 年史 (41) <平成31年4月> 博士(水産学)
		共生生物学※
兼任	准教授	池田 忠広 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		共生生物学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石田 潤 (64) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	石田 潤 (65) <平成32年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	准教授	馬場 美智子 (53) <平成31年4月> 博士(工学)
		減災復興まちづくり
兼任	准教授	阪本 真由美 (48) <平成31年4月> 博士(情報学)
		兵庫の歴史と自然災害史
兼任	准教授	澤田 雅浩 (47) <平成31年4月> 博士(政策・メディア)
		社会特性と減災復興※
兼任	准教授	紅谷 昇平 (47) <平成31年4月> 博士(工学)
		社会特性と減災復興※
兼任	准教授	浦川 豪 (46) <平成31年4月> 博士(工学)
		生活と防災
兼任	准教授	和田 年史 (41) <平成31年4月> 博士(水産学)
		共生生物学※
兼任	准教授	池田 忠広 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		共生生物学※



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	橋本 佳明 (62) <平成31年4月> 学術博士
		共生生物学※
兼任	准教授	三枝 春生 (61) <平成31年4月> 理学博士
		共生生物学※
兼任	准教授	赤澤 宏樹 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		共生生物学※
兼任	准教授	先山 徹 (65) <平成31年4月> 理学博士
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	准教授	大迫 義人 (61) <平成31年4月> 博士(理学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	内藤 和明 (50) <平成31年4月> 博士(学術)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	山室 敦嗣 (50) <平成31年4月> 博士(社会学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	小久保 吉裕 (66) <平成31年4月> 博士(工学)
		医療と工学のフロンティア
兼任	准教授	新部 正人 (63) <平成31年4月> 博士(理学)
		放射光科学のフロンティア
兼任	准教授	竹田 直樹 (57) <平成31年4月> 博士(学術)
		環境芸術論
兼任	准教授	福味 敦 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)
		多文化社会論※
兼任	准教授	岩瀬 真央美 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		多文化社会論※
兼任	准教授	伊藤 克広 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	橋本 佳明 (62) <平成31年4月> 学術博士
		共生生物学※
兼任	准教授	三枝 春生 (61) <平成31年4月> 理学博士
		共生生物学※
兼任	准教授	赤澤 宏樹 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		共生生物学※
兼任	准教授	先山 徹 (65) <平成31年4月> 理学博士
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	准教授	大迫 義人 (62) <平成31年4月> 博士(理学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	内藤 和明 (50) <平成31年4月> 博士(学術)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	山室 敦嗣 (50) <平成31年4月> 博士(社会学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	准教授	
兼任	准教授	新部 正人 (63) <平成31年4月> 博士(理学)
		放射光科学のフロンティア
兼任	准教授	竹田 直樹 (57) <平成31年4月> 博士(学術)
		環境芸術論
兼任	准教授	福味 敦 (46) <平成31年4月> 博士(経済学)
		多文化社会論※
兼任	教授	岩瀬 真央美 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		多文化社会論※
兼任	准教授	伊藤 克広 (46) <平成31年4月> 博士(学術)
		健康・スポーツ科学演習1 健康・スポーツ科学演習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	濱田 洋 (39) <平成31年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	准教授	福田 直樹 (42) <平成31年4月> 博士(経営学)
		原価計算論
兼任	准教授	桑原 史郎 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)
		経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ マクロ経済学Ⅲ
兼任	准教授	兵頭(井上) 和花子 (45) <平成31年4月> 博士(経営学)
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ
兼任	准教授	都築 洋一郎 (41) <平成31年4月> 修士(経営学)※
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ
兼任	准教授	橋本 浩幸 (49) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	清水 隆則 (40) <平成31年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	榎原 正吾 (54) <平成31年4月> 農学博士
		自然科学概論 生命概論 ライフサイエンス論
兼任	准教授	小野原 教子 (51) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Writing 1 Writing 2
兼任	准教授	永里 賢治 (55) <平成32年4月> 博士(学術)
		ものづくり経営学
兼任	准教授	辻川 尚起 (44) <平成31年4月> 博士(経営学)
		会計学概論 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務情報分析論
兼任	准教授	小寺 倫明 (56) <平成31年4月> 社会学士
		現代の経営問題※
兼任	准教授	秋山 秀一 (50) <平成31年4月> 修士(商学)
		マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	濱田 洋 (39) <平成31年4月> 博士(法学)
		法学
兼任	准教授	福田 直樹 (42) <平成31年4月> 博士(経営学)
		原価計算論
兼任	准教授	桑原 史郎 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)
		経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ マクロ経済学Ⅲ
兼任	教授	兵頭(井上) 和花子 (45) <平成31年4月> 博士(経営学)
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ
兼任	准教授	都築 洋一郎 (41) <平成31年4月> 修士(経営学)※
		簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ
兼任	准教授	橋本 浩幸 (49) <平成31年4月> 修士(経済学)※
		マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	清水 隆則 (40) <平成31年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ
兼任	准教授	榎原 正吾 (55) <平成31年4月> 農学博士
		自然科学概論 生命概論 ライフサイエンス論
兼任	准教授	永里 賢治 (55) <平成32年4月> 博士(学術)
		ものづくり経営学
兼任	准教授	辻川 尚起 (44) <平成31年4月> 博士(経営学)
		会計学概論 簿記論Ⅰ 簿記論Ⅱ 財務情報分析論
兼任	教授	秋山 秀一 (50) <平成31年4月> 修士(商学)
		マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タマシ カルメン Tamas Carmen (40) <平成31年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語・日本文化1
兼任	講師	宮本 匠 (34) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		災害支援とボランティア
兼任	講師	黒田 有寿茂 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		共生生物学※
兼任	講師	松原 典孝 (38) <平成31年4月> 博士(理学)
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	講師	ニェム フー ビン NghiêmPhú Bình (36) <平成32年4月> 博士(政策・メディア)
		消費者行動論
兼任	講師	菊池 義浩 (40) <平成31年4月> 博士(工学)
		地域資源マネジメント概論※
兼任	講師	鴨谷 香 (39) <平成31年4月> 学士(発達科学)
		キャリアデザイン入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タマシ カルメン Tamas Carmen (40) <平成31年4月> 博士(日本語・日本文化)
		日本語・日本文化1 日本語・日本文化2
兼任	講師	宮本 匠 (34) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		災害支援とボランティア
兼任	講師	黒田 有寿茂 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		共生生物学※
兼任	講師	松原 典孝 (38) <平成31年4月> 博士(理学)
		地域資源マネジメント概論※ ジオパークと地域
兼任	講師	ニェム フー ビン NghiêmPhú Bình (36) <平成32年4月> 博士(政策・メディア)
		消費者行動論
兼任	教授	勝田 仁美 (63) <平成31年4月> 博士(看護学)
		地域社会と健康※
兼任	教授	安田 義郎 (62) <平成31年4月> 経済学修士
		現代の経営問題※
兼任	教授	大野 かおり (57) <平成31年4月> 博士(保健学)
		ヒューマンヘルスサイエンス※
兼任	教授	小西 美和子 (55) <平成31年4月> 博士(看護学)
		ヒューマンヘルスサイエンス※
兼任	教授	片山 貴文 (53) <平成31年4月> 博士(工学)
		ヒューマンヘルスサイエンス※
兼任	教授	高見 美保 (51) <平成31年4月> 博士(看護学)
		地域社会と健康※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	劉 雯 (33) <平成31年4月> 博士(文学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	勝木 洋子 (67) <平成31年4月> 修士(学術)
		ひょうごの子育て支援
兼任	講師	石川 真作 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	柳田 玲奈 (36) <平成31年4月> 博士(文学)
		スペイン語1 スペイン語2
兼任	講師	山崎 健 (65) <平成31年4月> 博士(文学)
		自然地理学
兼任	講師	宋 晴美 (62) <平成31年4月> 学士(薬学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	陸 海平 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
		中国語1
兼任	講師	沈 揚 (61) <平成31年4月> 修士(学校教育)
		中国語2
兼任	講師	横原 千史 (61) <平成31年4月> 修士(教育学)
		芸術学
兼任	講師	木津 久美子 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		TOEIC English 1
兼任	講師	河田 康裕 (60) <平成31年4月> Ph. D. Computational Linguistics (英国)
		TOEFL English 1 TOEFL English 2
兼任	講師	佐藤 充弘 (59) <平成31年4月> 教育学修士
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	講師	中山 一郎 (56) <平成31年4月> 修士(人間科学)
		キャリアデザイン入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	勝木 洋子 (67) <平成31年4月> 修士(学術)
		ひょうごの子育て支援
兼任	講師	石川 真作 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	山崎 健 (65) <平成31年4月> 博士(文学)
		自然地理学
兼任	講師	宋 晴美 (62) <平成31年4月> 学士(薬学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	陸 海平 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	沈 揚 (61) <平成31年4月> 修士(学校教育)
		中国語1 中国語2
兼任	講師	横原 千史 (61) <平成31年4月> 修士(教育学)
		芸術学
兼任	講師	木津 久美子 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 TOEIC English 1
兼任	講師	河田 康裕 (60) <平成31年4月> Ph. D. Computational Linguistics (英国)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 TOEFL English 1 TOEFL English 2
兼任	講師	佐藤 充弘 (59) <平成31年4月> 教育学修士
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河川 紅 (55) <平成31年4月> 社会学士
		キャリアデザイン入門
兼任	講師	塩田 勝彦 (54) <平成31年4月> 文学修士
		Writing 1 Writing 2 Business English 1 Business English 2 社会学 比較文化論
兼任	講師	岸本 千秋 (53) <平成31年4月> 修士(文学)
		文章表現論
兼任	講師	大石 高志 (52) <平成31年4月> 修士(学術)
		グローバルヒストリー
兼任	講師	于 雪婷 (51) <平成31年4月> 修士(理学)
		中国語 1 中国語 2
兼任	講師	樋口 大祐 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本文学
兼任	講師	申 文鈺 (48) <平成31年4月> 日韓翻訳学碩士(韓国)
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	田庭 里恵 (48) <平成31年4月> 修士(言語教育)
		日本語・日本文化 2
兼任	講師	高松 琢麻 (45) <平成31年4月> 修士(人間文化学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 TOEIC English 2
兼任	講師	島田 喜行 (44) <平成31年4月> 博士(哲学)
		論理学
兼任	講師	上相 英之 (41) <平成31年4月> 博士(人間文化学)
		日本文化論
兼任	講師	野上 恵美 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		宗教概論
兼任	講師	吉川 圭太 (38) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河川 紅 (55) <平成31年4月> 社会学士
		キャリアデザイン入門
兼任	講師	塩田 勝彦 (54) <平成31年4月> 文学修士
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 Writing 1 Writing 2 Business English 1 Business English 2 社会学 比較文化論
兼任	講師	岸本 千秋 (53) <平成31年4月> 修士(文学)
		文章表現論
兼任	講師	大石 高志 (52) <平成31年4月> 修士(学術)
		グローバルヒストリー
兼任	講師	于 雪婷 (51) <平成31年4月> 修士(理学)
		中国語 1 中国語 2
兼任	講師	樋口 大祐 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本文学
兼任	講師	申 文鈺 (48) <平成31年4月> 日韓翻訳学碩士(韓国)
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	高松 琢麻 (45) <平成31年4月> 修士(人間文化学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2 TOEIC English 2
兼任	講師	島田 喜行 (44) <平成31年4月> 博士(哲学)
		論理学
兼任	講師	上相 英之 (41) <平成31年4月> 博士(人間文化学)
		日本文化論
兼任	講師	野上 恵美 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		宗教概論
兼任	講師	吉川 圭太 (38) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 結城 (35) <平成31年4月> 博士(文学)
		政治学
兼任	講師	柴田 堯史 (35) <平成31年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	齋藤 幸恵 (33) <平成31年4月> 修士(文学)
		Writing 1 Writing 2
兼任	講師	易 星星 (32) <平成31年4月> 修士(経済学)
		中国語 1 中国語 2
兼任	講師	西山 由理花 (31) <平成31年4月> 博士(法学)
		国際関係論入門
兼任	講師	山口 真紀 (37) <平成31年4月> 学士(社会学)
		男女共同参画社会
兼任	講師	羽室 行信 (54) <平成31年4月> 修士(経営学)
		PBL演習 I PBL演習 II
兼任	講師	丸橋 弘明 (43) <平成31年4月> 修士(経営管理)
		PBL演習 I PBL演習 II プログラミングⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柴田 堯史 (35) <平成31年4月> 博士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	齋藤 幸恵 (33) <平成31年4月> 修士(文学)
		Reading and Discussion 1 Reading and Discussion 2 Writing 1 Writing 2
兼任	講師	易 星星 (32) <平成31年4月> 修士(経済学)
		中国語 1 中国語 2
兼任	講師	羽室 行信 (54) <平成31年4月> 修士(経営学)
		PBL演習 I PBL演習 II
兼任	講師	丸橋 弘明 (43) <平成31年4月> 修士(経営管理)
		PBL演習 I PBL演習 II プログラミングⅢ
兼任	講師	戎 多麻枝 (44) <平成31年4月> 学士(心理学)
		キャリアデザイン入門
兼任	講師	井本 七瀬 (35) <平成31年4月> 学士(政策科学)
		キャリアデザイン入門
兼任	講師	山科 美和子 (57) <平成31年4月> MA College of Arts and Science (米国)
		Listening and Speaking 1 Listening and Speaking 2
兼任	講師	マッコーリ マイルス (63) <平成31年4月> MA Applied Linguistics (英国)
		Writing 1 Writing 2
兼任	講師	川上 夏林 (31) <平成31年4月> 修士(人間環境学)
		フランス語 1 フランス語 2





(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

(時間割編成に伴う授業科目担当者の変更)

- ・「統計学」を兼任准教授・森谷義哉から専任准教授・山本岳洋に変更。
- ・「ヒューマンヘルスサイエンス」を兼任教授・丸橋裕から兼任教授・小西美和子、兼任教授・片山貴文、兼任教授・大野かおり、兼任准教授・谷田恵子に変更。
- ・「地域社会と健康」の担当教員を下記のとおり変更。  
兼任教授・池田雅則、兼任教授・森本美智子、兼任教授・柴田真志、兼任教授・工藤美子、兼任准教授・船越明子から兼任教授・勝田仁美、兼任教授・高見美保、兼任講師・中筋美子、兼任助教・岡邑和子に変更。
- ・「経営学概論」を兼任教授・三崎秀央から兼任准教授・中尾公一に変更。
- ・「Reading and Discussion 1」の担当教員のうち、下記の担当教員を変更。  
兼任教授・末弘美樹、兼任教授・金志佳代子、兼任准教授・小野原教子から兼任講師・木津久美子、兼任講師・河田康裕、兼任講師・齋藤幸恵に変更。
- ・「Reading and Discussion 2」の担当教員のうち、下記の担当教員を変更。  
兼任教授・末弘美樹、兼任教授・金志佳代子、兼任准教授・小野原教子から兼任講師・木津久美子、兼任講師・河田康裕、兼任講師・齋藤幸恵に変更。
- ・「フランス語 1」「フランス語 2」を兼任教授・木下誠から兼任講師・川上夏林、兼任講師・岡部ベアトリスに変更。
- ・「多文化社会論」の担当教員を兼任教授・末弘美樹を除いた5名(兼任教授・野津隆志、兼任教授・陳來幸、兼任教授・木下誠、兼任准教授・福味敦、兼任准教授・岩瀬真由美)に変更。
- ・「現代の経営問題」の担当教員を下記のとおりに変更。  
兼任教授・當間克雄、兼任教授・加納郁也、兼任准教授・小寺倫明、兼任助教・青木崇から兼任教授・安田義郎、兼任教授・下中和人、兼任教授・田中隆、兼任教授・横山由紀子、兼任准教授・山田一夫、兼任准教授・橋本浩幸に変更。
- ・「Listening and Speaking 1」「Listening and Speaking 2」の担当教員のうち、下記の担当教員を変更。  
兼任教授・金志佳代子、兼任教授・瀬良晴子から兼任講師・塩田勝彦、兼任講師・山科美和子に変更。
- ・「医療と工学のフロンティア」の担当教員を兼任准教授・小久保吉裕から兼任教授・小橋昌司に変更。
- ・「地域資源マネジメント概論」の担当教員を兼任講師・菊池義浩を除いた9名(兼任教授・井口博夫、兼任教授・江崎保男、兼任教授・佐川志朗、兼任教授・中井淳史、兼任准教授・先山徹、兼任准教授・大迫義人、兼任准教授・内藤和明、兼任准教授・山室敦嗣、兼任講師・松原典孝)に変更。
- ・「キャリアデザイン入門」の担当教員のうち、下記の担当教員を変更。  
兼任講師・鴨谷香、兼任講師・中山一郎から兼任講師・戎多麻枝、兼任講師・井本七瀬に変更。

(時間割編成及びびびクラス数増に伴う授業担当者の変更)

- ・「Writing 1」「Writing 2」の担当教員を兼任准教授・小野原教子を除いた4名(兼任講師・ロバート ダン、兼任講師・塩田勝彦、兼任講師・齋藤幸恵、兼任講師・マッコリーマイルス)に変更。

(クラス数増に伴う授業科目担当者の変更)

- ・「韓国・朝鮮語 1」「韓国・朝鮮語 2」の担当教員に兼任講師・金明珉を追加。

(科目追加に伴う授業担当者の変更)

- ・「ドイツ語 1」「ドイツ語 2」の担当教員に兼任講師・森村采未を追加。

(兼任講師辞退に伴う変更)

- ・兼任講師・中西知子の就任辞退により、「グローバルリーダー入門」を兼任教授・陳來幸に変更。
- ・兼任講師・倉地博美の就任辞退により、「健康・スポーツ科学演習 1」「健康・スポーツ科学演習 2」を4名(兼任教授・鶴木秀夫、兼任教授・土肥隆、兼任教授・松村浩貴、兼任准教授・伊藤克広)に変更。
- ・兼任講師・劉雯の就任辞退により、「中国語 1」の担当教員を兼任講師・沈揚に、「中国語 2」の担当教員を兼任講師・陸海平に変更。
- ・兼任講師・柳田玲奈の就任辞退及びびクラス数増により、「スペイン語 1」「スペイン語 2」の担当教員を兼任講師・川口正道、兼任講師・エスメラルダ バレイロに変更。
- ・兼任講師・田庭里恵の就任辞退により、「日本語・日本文化 2」を兼任准教授・タマシ カルメンに変更。
- ・兼任講師・前田結城の就任辞退により、「政治学」の担当教員を兼任講師・富山仁貴に変更。
- ・兼任講師・西山由理花の就任辞退により、「国際関係論入門」の担当教員を兼任講師・西村真彦に変更。
- ・兼任講師・山口真紀の就任辞退により、「男女共同参画社会」の担当教員を兼任講師・佐々木和子に変更。

(兼任教員辞任に伴う変更)

- ・兼任助教・青木崇の兼任教員辞任により、「兵庫県の行政」を兼任教授・加納郁也に変更。

(兼任准教授の昇任に伴う変更)

- ・兼任准教授・岩瀬真央美、兼任准教授・兵頭和花子、兼任准教授・秋山秀一が、兼任教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
10	9	0	4	23	9	8	0	3	20
(9)	(8)	(0)	(3)	(20)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
10	9	0	4	23	10	9	0	4	23
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定 年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
65 歳	1 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		「該当なし」								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目	
		選択	科目		選択	科目		選択	科目	
		自由	科目		自由	科目		自由	科目	
		計	0 科目		計	0 科目		計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		「該当なし」								
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	科目		必修	科目		必修	科目	
		選択	科目		選択	科目		選択	科目	
		自由	科目		自由	科目		自由	科目	
		計	0 科目		計	0 科目		計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目		必修	0 科目		必修	0 科目	
		選択	0 科目		選択	0 科目		選択	0 科目	
		自由	0 科目		自由	0 科目		自由	0 科目	
		計	0 科目		計	0 科目		計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		「該当なし」					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成30年6月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<社会情報科学部 社会情報科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

授業内容・方法等の改善、教育内容を向上させるための組織的な取り組みを行うため、FD委員会を設置。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

教授会の開催とあわせて、月1回（水曜日）に開催する。構成員は教授会の構成員と同じ。

##### c 委員会の審議事項等

授業内容・方法等の改善、教育内容を向上させるための組織的な取り組みを行うために必要な事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・教材開発のための研究会の開催
- ・授業内容及び授業方法を改善するための資料の収集
- ・教員相互の授業参観

##### b 実施方法

- ・演習準備ワーキンググループを開催し、検討内容についてFD委員会で共有する。
- ・授業評価アンケートを実施するとともに、成績分布を検証する。また、課題の提出・回収方法など意見交換を行う。
- ・他の教員の授業を参観し、優れた点を取り入れる。また、客観的視点からアドバイスを行う。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

今年度は4月10日の教授会の後、専任教員全員が参加し今後の授業運営について意見交換を行った。

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

##### a 実施の有無及び実施時期

前期と後期の終了時に実施予定。

##### b 教員や学生への公開状況、方法等

全学の学内Webシステムにより、全教員及び全学生に公開している。

※ なお、SDの取組みとしては、事務局職員の資質向上と人材育成を図るため、公立大学協会等とも連携し、計画的に実効性のある研修を行っている。学内研修としては、決算事務担当者等を対象とした分野別研修や外部講師による研修に加え、障害のある学生への支援等特定の課題をテーマとした研修を開催している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学生確保

平成30年6月に本学部を設置届出した後、学部紹介パンフレットの作成やホームページへの掲載、学校説明会の実施、オープンキャンパスでの新学部紹介、学部設置に係る記者発表の実施等により、本学部設置の趣旨・目的等を周知するとともに、アドミッションポリシーの浸透を図った。その結果、入学定員100名に対して、897名の志願者を集めることができた。これは、本学部に対する受験者の志望度の高さを反映したものと考えられるとともに、本学部の設置の趣旨・目的が受験生に十分に理解され、社会ニーズに合致したものであると考えられる。今後も本学部のアドミッションポリシーに合致する入学者を確保するべく、適切な学生募集活動に努めていく。

2. 効果的な教育の実施

本学部では、初年次の専門教育として、数学や情報科学の基盤科目を中心に開講し、2年次以降の専門教育では、企業等から得られた実データを用いた実践教育を通じて、情報科学技術やデータ分析等のスキルを活かした課題解決能力を養う。このため、2年次以降（来年度）の専門教育開講に備え、各種企業等からデータ提供を受ける手続きを進めているほか、高度情報処理を主体としたカリキュラムに対応するため、教育研究施設の建設に着手しており、来年2月竣工に向けて施設整備が着実に進んでいる。

3. 教員体制の確保

本学部では、令和元年度に着任予定の教員20名全員が設置計画どおり着任し、教育課程編成のために必要な教員組織を編成することができている。兼担・兼任教員についても、設置計画どおり教育課程編成のために必要な教員体制が確保できている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年度の実施状況に関する自己点検・評価を実施中。
- ・令和元年10月に公表予定。

b 公表方法

- ・自己点検・評価実施後、大学ホームページに掲載予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・全学について、平成28年度に評価機関（（独）大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審し、平成29年3月23日に「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を受けた。教育研究活動等の質の維持向上に向けて、令和5年度までに認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 7月 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。